

祝 令和元年度 長崎県 優秀工事知事表彰



受賞企業の代表者と平田副知事（前列中央）・関係各部長（後列両端）



受賞工事の担当技術者と平田副知事（前列中央）・関係各部長（後列両端）

令和元年度長崎県優秀工事知事表彰を
受賞された皆様にご心よりお慶び申し上げます

官民一体で働き方改革を加速 「地域建設業の中心で活躍する受賞者の協力不可欠」

長崎県知事 中村法道



本日、令和元年度長崎県優秀工事表彰式を開催いたしましたところ、ご来賓並びに受賞者の皆様方におかれましては、ご多忙の中、ご出席を賜り厚くお礼を申し上げます。

また、皆様には、日頃から、県政の推進に特段のご理解、ご協力を賜っておりますことに重ねてお礼を申し上げます。

本日の表彰式は、県が発注した公共工事において、他の模範となる工事を完成された、特に優秀な企業の皆様を表彰させていただくものであり、このことを通して、県内建設産業の資質の向上を図るものでございます。

今回受賞される19工事22社の皆様方は、対象となる工事約1200件の中から、厳正な審査により、優秀工事として認められたものであります。このたびのご受賞を心からお祝い申し上げます。

さて、先月7月20日に五島・対馬において警戒レベルのうち最も高い、レベル5にあたる「大雨特別警報」が発表され、一部で土砂災害が発生しています。近年は、ゲリラ豪雨等による自然災害が頻発化・激甚化しているため、本県においてもハード・ソフトを合わせた防災・減災対策や戦略的なインフラ老朽化対策によって、県民

の安心・安全な生活を守る強靱な県土づくりを進めているところであります。

一方で、公共工事を支える建設業の就業人数は、建設業投資の減少に伴い、平成7年度のピークのときに比べると6割程度まで減少しております。また、あわせて就業者の高齢化も進んでおり、建設業の担い手不足が懸念されております。

このため、全ての産業の基盤であり地域の守り手でもある建設業の中長期的な担い手確保・育成に向け、本県においても、建設現場におけるICT技術の活用による生産性向上や週休2日の実現による職場環境の向上など、若者や女性にも魅力ある建設業に向けた取り組みを進めているところであります。

この担い手育成にあたっては、官民一体となって建設業の働き方改革を加速させていく必要があります。地域の建設産業の中心として活躍されておられる皆様方のご協力が必要不可欠であると考えております。

本日お集まりの皆様におかれましては、今後とも、さらなる技術力の向上にご精励いただきますとともに、次代を担う若者たちの育成に励んでいただくなど、引き続き県民の安全・安心な生活を確保するため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、受賞者の皆様におかれましては、お祝いを申し上げますとともに、ご列席の皆様のご後益々のご健康、ご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。